

言語文化学科		教授	安井 一郎	大学院の授業担当 無
<b>教育活動</b>				
教育実践上の主な業績		年月日	概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				
1	学生の授業参加意識の向上の取り組み	2001年4月～現在	授業においては学生の授業参加への意欲を高め、授業科目へ興味を持ってもらうことを意識した。具体的には、身近な出来事を例にとって説明を進める、視聴覚教材を積極的に活用する、グループワークを取り入れるなど、授業への参加意識を高めるよう心がけた。	
2	学生による授業評価の活用	2001年4月～現在	毎学期授業終了後に行われる授業評価アンケートの結果に基づいて授業の理解度と授業方法が適切であるか否かを確認し、次学期以降の授業内容と授業方法の改善に役立てている。	
3	体験的学習の取り組み	2002年4月～現在	中学校の教育課程を想定して、総合演習の授業において体験的学習活動の活動プランの作成及び実施(2011年3月まで)、教科教育法特論Ⅰの授業においてクロスカリキュラムの年間指導計画の作成を行っている。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
1	山口満・安井一郎編『改訂新版特別活動と人間形成』学文社	2010年4月	学校の教育活動の一環として計画され、実践されている特別活動が、児童期や青年期の人間形成にどのような役割を持っているのか、その役割を十分に果たすために児童・生徒の諸活動をどのように組織し、指導するのが望ましいのか等についての15の問題を取り上げ、考察した。	
2	獨協大学『教育実習の指針』(改訂新版)	2010年4月～現在	教育実習事前指導用のテキストとして、教育実習の意義、実習期間中の職務の内容、教材研究、学習指導案作成例等についてまとめている。	
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等				
4 その他教育活動上特記すべき事項				
1	総合的学習の指導に関わる野外体験学習	2002年4月～2011年3月	教職課程履修者を対象として、毎年2回ずつ実施した(静岡県伊豆高原、群馬県赤城山、新潟県妙高高原、福島県那須甲子高原)。	
<b>学会等および社会における主な活動(学外の委員、役職等)</b>				
年月日		活動内容		
1981年8月～現在		日本教育方法学会会員		
1983年7月～現在		日本教育学会会員		
1989年10月～現在		日本比較教育学会会員		
1990年12月～現在		日本カリキュラム学会会員		
1992年7月～現在		日本特別活動学会会員		
		同学会 理事(2000年8月～現在)		
		同学会 紀要編集委員長(2006年8月～現在)		
		同学会 第16回大会実行委員長(2007年08月18日,19日 於 獨協大学)		
		同学会 副会長(2015年8月～現在)		
2001年7月～現在		日本学校教育学会会員		
2004年11月～現在		草加市社会教育委員		
2008年4月～現在		横浜市教育委員会教育課程研究委員会特別活動部会外部委員		
2014年4月～現在		草加市ふるさとまちづくり応援基金運営委員会 委員長		
<b>その他</b>				
科学研究費助成事業: 平成14～16年度 科学研究費補助金基盤研究 (B)(1)「児童生徒の社会性を育てる特別活動のカリキュラム開発に関する総合的研究」研究代表者				